

フィリピン国ケソン市-大阪市に関する都市間連携

大阪市とケソン市は、2015年度の環境省事業を皮切りに連携を開始し、2017年から都市間連携事業に参画している。2018年には大阪市とケソン市の低炭素都市形成に向けた協力関係に関する覚書を締結し、政策対話を行ってきた。2021年には覚書を更新し、ケソン市における脱炭素都市形成に向け、さらなる連携の深化・拡充を図っている。

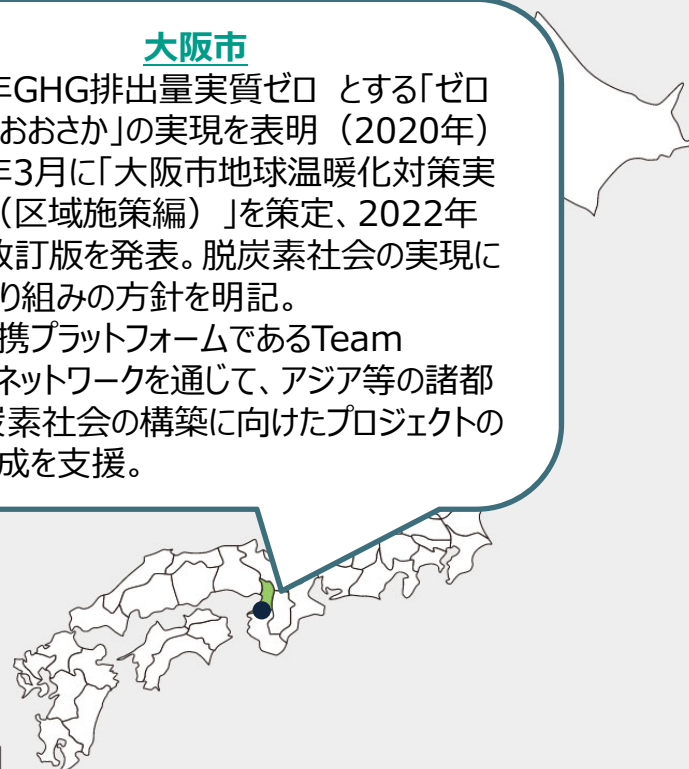
フィリピン国ケソン市

C40に参加しており、フィリピンを代表する環境先進都市。2030年までにBAU比で30%のCO2排出削減、2050年までにCO2排出実質ゼロを目標としている。

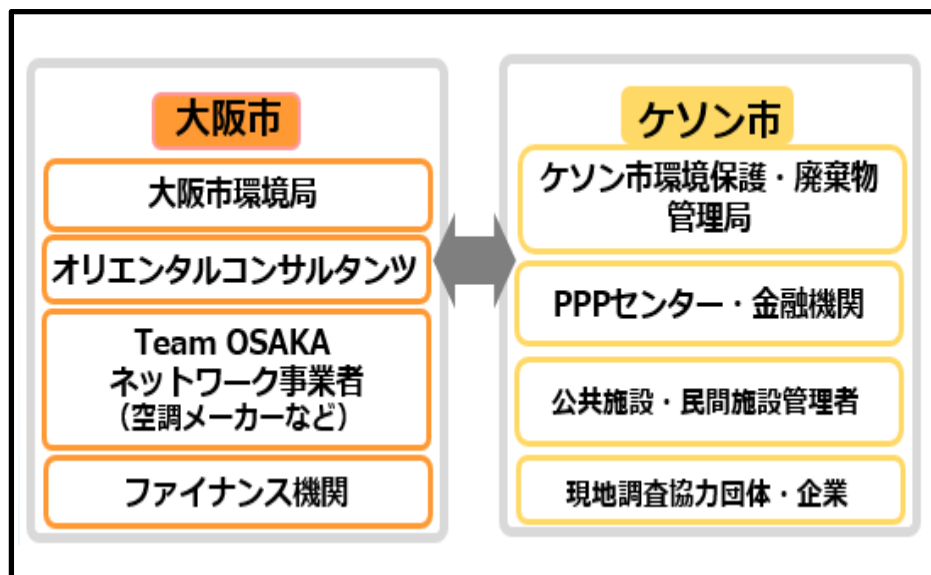


大阪市

- ・2050年GHG排出量実質ゼロとする「ゼロカーボン・おおさか」の実現を表明（2020年）
- ・2021年3月に「大阪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定、2022年10月に改訂版を発表。脱炭素社会の実現に向けた取り組みの方針を明記。
- ・官民連携プラットフォームであるTeam OSAKAネットワークを通じて、アジア等の諸都市の脱炭素社会の構築に向けたプロジェクトの創出・形成を支援。



フィリピン国ケソン市-大阪市に関する都市間連携



【事業活動】

- ケソン市内の施設における適切なエネルギーマネジメントの導入検討
- グリーンビルディング条例の調査
- 道路交通の現況と課題に関する調査
- 大気質管理に係る現況の把握と対策の検討
- ケソン市・大阪市の市長級政策対話の実施
- ワークショップの開催（2回）

【成果】

- 省エネ・創エネ分野の動向把握と、日本のエネルギーマネジメントシステム及び再生可能エネルギー活用事例の紹介
- ケソン市のグリーンビルディングコードの把握と、大阪市の環境評価制度の知見共有
- 道路交通、交通渋滞状況の把握と課題の整理、日本の交通渋滞対策の事例紹介による知見共有
- 大気質管理に係る基準、体系と手法の把握